

雑木林ファンクラブ通信

住所：〒 247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

一輪ほどの

百年振りの降雪(1月14日バクダツ)、バナナで釘打ち-36.4℃(1月19日旭川市江丹別)が報じられてから間も無く横浜でも-0.6℃を記録(1月23日)した。終日曇交りの雪を齎した寒波はその後波状来襲し、石油価格高騰の折から賢い暖房対策が話題となった。起きぬけの台所の寒さにプチ冬籠もりを決め込むマイナス思考の日々を然り気なく支えてくれたのは数本の梅枝。『サクラ伐る馬鹿、ウメ伐らぬ馬鹿』とばかりに剪定してはみたものの無数に付いた蕾が愛おしく、処分し難く空き瓶に投げ入れ出窓に置いてみた。それが寒明け前後から目に見えて膨らみを増し『冬来たりなば春遠からじ』と仄かな温もりを醸している。

年明けに最初に咲く花ゆえ百花初見・百花元始と呼ばれるウメ。この万物蘇りの先触れは一節一花、時を得て一輪また一輪と開いていく(参1)。同じバラ科サクラ属のサクラのように艶やかに咲き競い爛漫と咲き誇る事はない。何処からともなく微かに漂い来る香りで咲き初めを知り、花を捜す。それ程に目立たず持て囃される機会は少ないが、確かめずにはいられない気になる存在だ。早春から初夏まで花も実もある時を刻み己を全うする ウメに見事お見事、生き方手本!と拍手喝采してみたい。

そんな愚にも付かぬ事を考えていたら不意に『あんばえ(註1)はどうよ?』との声を掛けられたような気がして一瞬タイムスリップした。麦踏みしながら口にすれば作柄であり、道端や庭先でなら互いの健康を気遣う意味だ。縁側で日向ぼっここの時は自家製お茶受けの味加減を、風呂焚きをしているときは湯加減を問う言葉。受験の結果・合否を遠回しに尋ねる場合にも使った。久しく忘れていた情のある言い回しのあれこれを手繰り寄せていたら梅干しを添えた熱い焙じ茶が飲みたくなった。『梅干はその日の難逃れ、三毒を消す(註2)』そう。嘘か誠か判らぬが、大福(服)茶気取りで毎朝一粒一服、すっきりシャンと冬越えできれば有り難い。

朱鷺



註1 塩梅、按配(案配)のハマ言葉

註2 食べ物の毒、水の毒、血の毒を消す
→食中毒、水あたりに効き、
血行を良くする。

参1 むめ一輪一りんほどのあたたかさ

服部嵐雪

参2 二もとの梅に遅速を愛すかな

与謝蕪村

1. 1月の活動報告

- ① 1月12日(土) 小雨 19名 七草粥(新年会)
- ② 1月19日(土) 晴れ 22名 名瀬北村農園での真竹伐採・杉伐倒、材の搬
- ③ 1月26日(土) 曇 22名 9号緑地間伐・雑木整理、午後・運営会



左:活動初日、雨でも19名参加。七草粥は炭小屋で頂きました。お神酒も一寸だけですが、大いに盛り上がりました。

中:北村農園の杉伐倒。梅畑の中に大きく育った樹齢60年位の杉を4本倒しました。近くの竹藪では真竹を採取、炭小屋に持ち帰った。



9号緑地で杉檜の間伐作業。曇り空の寒い日でしたが、木を切る、倒すと言えば誰もがいきいきします。伐採組は2班に分かれて枯れた木を伐倒、林地整理組は林内のアオキやネザサを除伐しました。枯れた木を伐るのは非常に危険、手順を踏んで安全を確認しながら行いましたが、午後の運営会のため12時半に中止して炭小屋に帰りました。春になれば、少しは明るくなった林床に草や雑木が生えてくるようになるかなと期待。

2. 運営会報告（1月26日 1330～1500）

① 2月作業予定の打合せ調整センターより

・トウネズモチ伐採の件：外来種であるトウネズは園内では除伐の対象。懸案の県水道事業団の管理地内のうち、道路側からクヌギ林・サクラ林に下りる道沿いのトウネズについては、伐採してもよい旨の了承を得た。作業予定を組んでほしい。

・友の会会員向けスキルアップイベント（2月23日（土）13:00～15:00）

「にぎわいの谷」生き物のための雑木林管理ゾーンの調査結果発表、計画の見直し検討等。当日はZFCの活動日でもあり、是非参加して欲しい。（⇒ZFCの2月活動計画に取り入れる）

② 当面の懸案事項の相談の結果

・名瀬北村農園の伐倒杉材：北村さんの希望を確かめたうえ処置する。

・ホダギ作り：クヌギ林からの搬出・炭小屋への搬入を2月2日・9日におこなう。

菌の植え付けは3月頃、クヌギ材の伐採は初冬に。

・9号緑地に仮置きしている杉材の搬出：栄区桂台の孟宗竹（竹内さん紹介）の搬出日に合わせ、同じ日に実施する。

・トウネズモチ退治：適宜作業に組み込む。炭焼きの炭材としても適材。

・炭焼き：3月に本窯で竹炭を焼く。改造窯であり、早朝より12時間で焼き上げる計画。

③ 片岡さんからの提案 2件

・ZFC会員向けの「森ボラ説明」をZFCの勉強会に組み込み開催しては如何との提案。

説明会を未經のZFC会員があるのではないかと懸念される。

（⇒2時間程度の勉強会を持つ。再認識のためにもよいと確認。）

・クヌギ林の計画的な整備について：植生の調査再確認、既作業区マップの活用・調査と植生マップの作成、これを基に計画的な整備管理を継続し記録を残す。特別チーム、担当も必要。

4月から実施したい。他プロジェクトに必要な応じ協力要請も。

（⇒基本的に賛成。現状を反省し、どのような林にすべきかに付き

各メンバーの認識と方法論の擦り合わせ、考え方の統一が必要。）

3. 2月の作業予定

① 2月2日（土） Sf準備、本窯炭だし、製材、檜伐採（トイレ横より）

② 2月9日（土） Sf準備、炭材加工（竹酢液採取のため）

③ 2月16日（土） SF準備、友の会ゴロ報発送、午後運営会

④ 2月17日（日） 森ボラ説明会（ZFC担当）、氷取沢ガールスカウトの森・間伐指導

⑤ 2月23日（土） SF準備、製材、ベンチ作り、午後・スキルアップ研修（運営会報告参照）

⑥ 3月1日（土） Sf準備ほか

（他に、毎水曜日・自由活動）

4. その他

花王「みんなの森の応援団」団体レポートにZFCが紹介されました。添付します。

先月号片岡さんのプロジェクトレポート学生終了式の報告を参照してください。

レポーター：法政大学人間環境学部 上田 真梨子さん

プロジェクト共催（特定非営利活動法人日本NPOセンター、花王株式会社）

<http://www.npo-hiroba.or.jp> には、その他の取材先団体の様子も掲載されています。

以上